

11 MON 月曜日
25日

使徒11:21~22 そして、主の御手が彼らとともにあったので、大ぜいの人が信じて主に立ち返った。この知らせが、エルサレムにある教会に聞こえたので、彼らはバルナバをアンテオケに派遣した。

きょうかいのためにいのりましょう

A. W. トーザー牧師の「礼拝なのかショーなのか」という本に、こういふ文章があります。「多くの教会が、キリスト教の真理を水で薄めた。そしてそれが毒だとしても、だれも殺すことができなくて、それが薬だとしても、だれも治すことができないほど薄めてしまった」このことばは、どういう意味でしょうか。

最近、多くの教会が「ただイエス・キリストだけが唯一の道、唯一の真理、唯一のいのちである」という事実を否認しているということです。イエス様の他にも他の道と真理があるということばを教会で叫んでいます。あまりにも残念で、胸が痛いことです。このような中に正しい福音を伝えている教会は、伝道する力をなくしたまま、レムナント同士で葛藤して争っています。このように教会がさまよっている間に、悪霊文化は世界を完全に掌握して、私たちがのがしたエリートを育てて瞑想運動をしながら、暗やみ文化で全世界の経済まで占めました。

レムナントのみなさんは、教会のために祈らなければなりません。世の中を生かす教会になるように、教会のために祈らなければなりません。神様がレムナントに与えられた使命です。

3 Today

きょうの みことば

マルコ16

いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

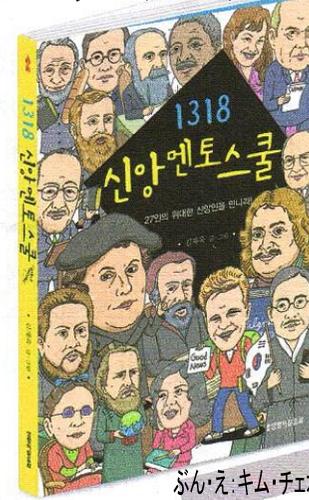
でいにくいはにせにあらはる
チェックしよう

2013. 7. 27 (核心訓練メッセージ)

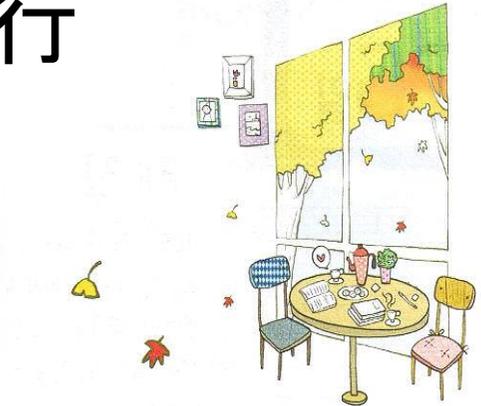
どくしよりよこう 読書旅行

かことばを てきようしよう

しんこうメンタースクール



ぶんえ:キム・チェオク



レムナントは、だれをメンターにするかに従って、価値観と未来がちがってきます。ところで、私たちのまことのメンターは、イエス・キリストだろいうことを知っていますね。そして、イエス・キリストは、その方をさらによく知ることができるように福音を伝えることができる者を与えられました。神様は、人間を通して福音の真理を伝えて、その道とともに同行してくださっているのです。さあ!どんな環境にいても福音を伝えた信仰のメンターに会いましょう。私たち生活のまことの目標とメンターに出会うことができるでしょう。

「信仰メンタースクール」は韓国語しかありませんが、参考に紹介しています。(訳者注)



父なる神様! 全世界の教会が、正しい福音を回復できますように。また、伝道する教会が多く起きますように。イエス・キリストのお名前によっていのりします。アーメン

使徒11:1~18 こういうわけですから、私たちが主イエス・キリストを信じたとき、神が私たちに下さったのと同じ賜物を、彼らにもお授けになったのなら、どうして私などが神のなさることを妨げることができませんか。人々はこれを聞いて沈黙し、「それでは、神は、いのちに至る悔い改めを異邦人にもお与えになったのだ」と言って、神をほめたたえた。(17-18)

たいしつ

人が持って生まれたからだの性質、または、指向のことを「体質」と言います。韓国には朝鮮後期の漢医学者イ・チェマによって創案された思想体質医学があります。人を「太陽人」「少陽人」「太陰人」「少陰人」という体質によって健康を診断して治療を提示する独創的な韓国の漢方医学です。からだに四種類の体質があるならば、霊的な部分には「信仰体質、不信仰体質」の2種類があります。この2種類の体質は、とても大きな結果をもたらします。もしかして、不信仰体質を持っていませんか。この体質は思いと心を病気にさせて、結局、からだにも危険な病気を持つようさせます。怖い体質です。信仰体質は、自分を生かして、他の人までも生かす驚くべき体質です。

普段の時の生活を詳しく見て、信仰体質を持ちましょう。朝早く起きてみことばを黙想しましょう。続けていれば、思いと心が神様に集中して祈りができるようになります。それとともに、祈りを通してビジョントリップを試みましょう。このように祈りを味わうならば、専門性が発見できて、唯一性の答えを受けるようになります。ある日、サミットの座に上がっている自分を発見することができます。

#体質という漢字は、からだ(体)と生まれながらに持っている性格や才能(質)を使います。

3 Today

きょうの みことば

ルカ 1

いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

でいこつはにせいのしるしを チェックしよう



イエスさまに いた こども

J = 100
Moderato 보통 빠르기



イエスさまー ち えとー せ た け が そ だ ー っ て ー
* き み は ー ち え と ー せ た け が そ だ ー っ て ー



か み さ ま と ひ と の あ い を た ー つ ぶ り う け て た よ
か み さ ま と ひ と の あ い を た ー つ ぶ り う け て ね ー

* き み は : と も だ ち や 自 分 の 名 前 を 入 れ て
神 様 の 祝 福 が 回 復 す る よ う に 歌 っ て み ま し ょ う 。

二人の子どもの父親になって愛する私の子どもを祝福するとい
う、必要で重要な契約を考えるようになりました。
ある日、次の世代のために祈っていて、ルカ 2:52 を考えました。イ
エス様がそうだったように、私の子どももイエス様に似ていくよう
にという、切実な願いと希望、祝福をこめた曲です。



父なる神様！不信仰の体質を持ったレムナントになりたくありません。信仰の体質を持ったレムナントになりたいです。毎日みことばをもって神様に集中するように挑戦します。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

11

WED 水曜日

27日

使徒11:19~30 さて、ステパノのことから起こった迫害によって散らされた人々は、フェニキヤ、キプロス、アンテオケまでも進んで行ったが、ユダヤ人以外の者にはだれにも、みことばを語らなかつた。ところが、その中にキプロス人とクレネ人が幾人かいて、アンテオケに来てからはギリシヤ人にも語りかけ、主イエスのことを宣べ伝えた。(19-20)

もんだいは ほうそうされた プレゼント

楽なこと、やさしいこと、はやいのがよくて!不便で、困難、忍耐はきらい!このごろの、ほとんどの子どもたちの姿です。神様は、問題と困難の中に最高の祝福を隠しておかれました。遠足に行ったときに楽しんだ宝探しゲームのようであり、かくれんぼのようです。

問題は包装されたプレゼントと同じです。それで、困難を避けようとだけすれば、多くの答えをのがすようになります。

初代教会の時は、イエス様を信じる人々と教会を迫害しました。ペテロは、イエス様の御名で足のなえた人を立てたという理由のために法廷に立って、ステパノ執事は殉教しました。使徒たちは、牢屋に閉じ込められました。しかし、神様はこの迫害を通して伝道と宣教、そして、弟子の門をぱっと開かれたのでした。私たちが自分がまがかったので体験するようになる困難は反省すればよいです。しかし、私たちがまがかったのではなくて困難がきたとすれば、そこに神様の大きい計画が隠されています。

問題があるのでしょうか。困難があるのでしょうか。祈りの中にあるレムナントは、その中に隠されたプレゼントを見るようになるでしょう。福音と伝道とにつなげて解釈してみましょう。正確な神様の計画が見えるでしょう。

3 Today

きょうの みことば

ルカ 2

いちにち、1しゅう、かみせほのみことばをよもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう

でいこいはいにせいどうしほ チェックしよう

みことばを てきよしお

こどもあかし文

ヘスの家はママがまず福音を受けて、ヘスと弟2人も神の子どもになりました。しかし、おじいさんとおばあさんが、偶像崇拝を深くしています。法事も多く、法事のときごとに、ヘスと弟たちに、絶対におがませるほどです。その上、おじいさんが「教会には絶対に行ってはならない」と誓いました。おじいさんにわからないように教会に通っていたのですが、パパも、おじいさんとの葛藤ができるから、教会に行くことを良いと言いませんでした。それで、教会に行くときは、いつもヘスのパパの目を気にしながら、許可をもらわないといけなかったのです。おじいさんとパパとの迫害が深刻になるほど、ヘスのママは、神様を切実に見上げるしかありませんでした。パパが出勤したあと、ヘスの家族は、毎日、毎日、学校に行く前に少し集まって、いっしょにさんびして、みことばを読んで、家系の暗やみを砕く祈りをしました。パパが屋に外出したら、その時間を利用して、家庭礼拝をささげました。時間が流れて、神様が答えてくださりはじめました。パパの心の門が大きく開いたので、日曜1部礼拝だけ、かろうじてささげることができていたヘスが、いまは2部礼拝までささげて、水曜礼拝までささげることができるようになりました。ヘスと弟も、多くの答えを体験しました。日曜に礼拝に行けない状況になって、ママと集中祈りをしたところ、礼拝をささげることができるようになり、神様が環境を変えてくださったのです。迫害と問題が、かえってヘスの家庭をもっと神様を見上げるようにさせて、信仰によって立つようにさせてくださったのです。



愛の神様! 苦しみが来たら、逃げるのではなく、その中に隠されている神様の計画を見て、備えられている答えを受けることができますように。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

11 THU 木曜日
28日

詩篇1:2~3 まことに、その人は主のおしえを喜びとし、昼も夜もおしえを口ずさむ。その人は、水路のそばに植わった木のように。時が来ると実がなり、その葉は枯れない。その人は、何をしても栄える。

だい1たいけん、だい1しめい

今は一人で霊的サミットに挑戦して、第1体験であり、第1使命である家庭と家系を生かしましょう。「一人でどのように生かすのだろうか!」として、ぎくりとこわくなりますか。恐れる必要はありません。レムナントは神様がともにおられます。ヨセフとダビデは「黙想」の中に入りました。聖書のみことばをもって朝、よるに黙想しましょう。単語一つ一つの意味を神様に尋ねながら祈るなら、自然に暗唱までできます。みことばがすなわち神様(ヨハネ 1:1)なので、少しだけ黙想しても神様が私とともにおられるということの思いと心の中に確認できるようになります。このときから、はじめて聖霊の満たしの味を知ようになって、心の中から喜びと感謝があふれるのです。「とても良くて幸せだ」という心も持つようになります。それから後には、祈りが生活の中で成り立ちはじめ、頂上(top)に、サミット(summit)に上がるようになります。このようにしたヨセフとダビデは、家庭と家系を生かすしかありませんでした。毎日みことば黙想に挑戦してみましょう。霊的な目が開いて、霊的分辨力ができます。家庭と家系の中に生じる問題や事件も、むしろ大きい祝福を受けることに活用することができます。これがサミットの姿でしょう。

3 Today

きょうのみことば
 ルカ3
いちにち1しゅうかみさまのみことばをよもう

きょうのいのり

きょうのでんどう

でいこくはいにせいこうしたるチエツクしよ

みことばをてきよしよ

きょうは、どんなみことばを黙想するのか書いてみましょう。

もくそうしたあとにでてきたかんがえ

もくそうするみことばかしよ



愛の神様! 私のいのちであり、主人である神様の前にみことばをもって出て行く力をまじ加えてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

1 サムエル 16:23 神の霊がサウルに臨むたびに、ダビデは立琴を手にとり、ひき、サウルは元気を回復して、良くなり、わざわいの霊は彼から離れた。

せんもんせい が ひつよう です

「祈りを通して、祈りの中で」神様がくださる専門性を発見して成長させていくとき、世の中に勝つようになって、世の中を生きることが出来ます。それなら今、どんな専門性が必要なのでしょう。

一つ目に、私を見つける専門性が必要です。ダビデのように神様のみことばを黙想しながら祈るとき、神様が Remnant が進む道を見せてくださって、導いてくださいます。今まで数えきれないほど失敗したとしても、神様を信じて神様に集中しながら祈るならば、私の専門性を見つけることができます。二つ目に、世の中に勝つ専門性が必要です。レムナントが生きていく世の中は、ゴリヤテのようにとても大きいです。だまされることも多くて、にせものも多いため、簡単にやられてしまいます。しかし、イエス様が世の中に勝たれたので、イエス様に集中することができれば、簡単に世の中に勝てる専門性を持てます。三つ目に、世の中を生き専門性が必要です。ダビデは主の霊に満たされたので、ダビデが行く先ごとに悪霊が離れる驚くことが起きました。ダビデに聖霊の満たしをくださった神様は、祈るレムナントに必ず家庭、教会、国、世の中を生きさせる専門性をくださるでしょう。

3 Today

きょうの みことば

ルカ 4

いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう



ていこくはいはい せいこうしんたう
チェックしよう



たのしく あそぼう

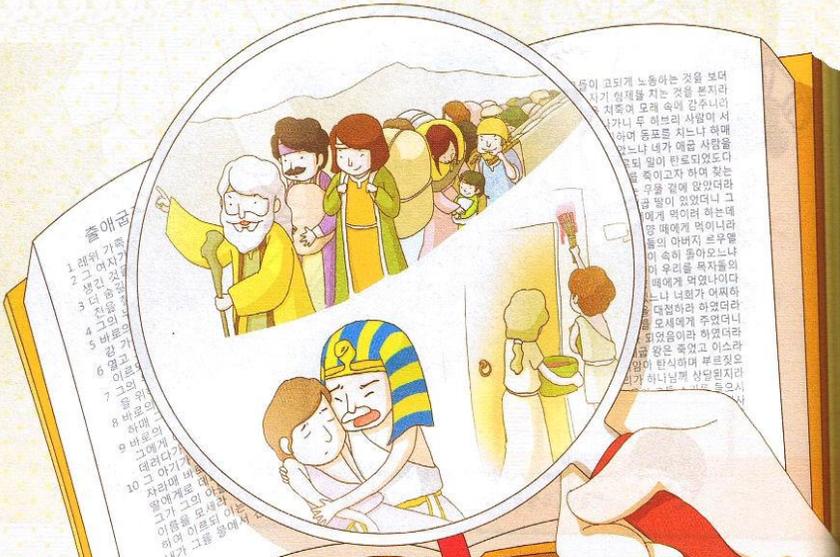


父なる神様！ダビデに自分を見つけ、この世に勝ち、この世を生きさせる専門性をくださったように、私にも神様がくださる専門性をくださることを信じます。私をとおして栄光を受けてください。イエス・キリストのお名前によっておいのりします。アーメン

かみさまが くださった やくそくを わすれないで!

かみさまがモーセに、エジプトから出て神様に血のいけにえをささげなさいと言われました。モーセとアロンは、イスラエル子孫のすべての長老を集めて、主がモーセに言われたすべてのみことばを伝えました。モーセは民の前で、神様がなさることであると証明するために、奇跡を行いました。イスラエルの民は、モーセの奇跡を見て、モーセが伝えるのが神様のみことばであることを信じました。そして少し後、モーセとアロンは、パロ王の前に出て行って神様のみことばを伝えました。

「ヘブル人の神、主が私たちとお会いになりました。どうか今、私たちに荒野へ三日の道のりの旅をさせ、私たちの神、主にいけにえをささげさせてください」



しかし、パロ王はモーセのことばを聞かず、むしろイスラエルの民により一層、苦しい奴隷生活をさせました。モーセは、人の話より神様のみことばにより一層頼る人でした。それで、イスラエルの民の非難を聞きながらも、神様が行われる計画を見上げながら待ちました。神様は、ご自分のみことばを聞かないエジプト人とパロ王に怒られました。そして、エジプトに10の災いをくだされました。



結局、神様のみことばにより、モーセとともにイスラエルの民は、エジプトの奴隷生活から抜け出るようになりました。神様はモーセを通して、過越の祭り(救い)、五旬節(聖霊の満ちし)、収穫祭(最高の倉庫天国)の奥義を知らせてくださって、カナンへの地に入る祝福も与えてくださいました。

かみさまが、神様の子どもにくださった祝福をのがさないように願います。モーセの前には問題があったのですが、失敗しなかった理由は、苦しみや問題が来ても、不平を言わなかったためでした。神様は、私たちがモーセのように神様のみことばを握ってついて行くことを望んでおられます。問題が生じるとき、神様の計画が何かと質問しながら神様のみことばを頼りましょう。神様がモーセをとおしてご自分の民を救われたように、私たちを通して全世界に福音を伝えることを願っておられるので、世の中に勝って、世の中を生かす知恵をくださるでしょう。

3Today

きょうのみことば

 ルカ5

いちにち 1しゅう かみさまのみことばを よもう!

きょうの いのり

きょうの でんどう